



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月11日

上場会社名 株式会社キャスター

上場取引所

東

コード番号 9331

URL <https://caster.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 中川 祥太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 酒井 佑介

(TEL) 050-5893-4549

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家・機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	3,447	—	△362	—	△366	—	△371	—
2024年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 △371百万円(—%) 2024年8月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	△189.68	—
2024年8月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2024年8月期末より連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2025年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	1,897	734	38.5
2024年8月期	2,455	1,103	44.9

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 731百万円 2024年8月期 1,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,619	4.0	△428	—	△396	—	△407	—	△207.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) 株式会社LUVO、CASTER TECH VIETNAM CO., LTD.

除外 1社(社名) -

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期3Q	1,960,460株	2024年8月期	1,960,460株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	40株	2024年8月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期3Q	1,960,452株	2024年8月期3Q	1,906,746株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日公表するとともに、当社ウェブサイト(<https://caster.co.jp/ir/>)に掲載しております。また、2025年7月14日(月)に個人投資家・機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日の詳細、参加方法等については、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲の重要な変更)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

2024年6月に株式取得しましたグラムス株式会社は決算期が5月のため2024年6月～2025年2月、2024年9月に設立した連結子会社である株式会社LUV0は2024年9月～2025年5月の業績を当第3四半期連結累計期間の連結業績に含んでおります。当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結累計期間との比較分析は実施しておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が継続しているものの、不安定な海外情勢や為替動向を背景とした物価上昇、米国の政策動向の影響等により、景気を下押しするリスクが高まっております。加えて、原材料やエネルギー価格の高騰、人件費の上昇により企業のコスト負担が増しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が展開する事業を取り巻く環境としましては、少子高齢化の進行等に伴う生産年齢人口の減少により、企業における人材確保の難しさが一層深刻化しております。「第42回ワークス大卒求人倍率調査」（出所：リクルートワークス研究所）によれば、従業員300人未満の中小企業における求人倍率は前年の6.50倍から8.98倍と急上昇している一方で、従業員規模がそれ以上の企業では、横ばいもしくはやや低下する傾向が見られるなど、企業規模による採用力の格差が拡大しています。また、帝国データバンクの「人手不足に対する企業の動向調査（2025年4月）」によると、正社員の人手不足を感じている企業は51.4%に達し、新入社員などの入社で緩和されやすい4月としては過去最高を記録しております。さらに「案件こそ多いが、スキルマッチした要員が不足しており受注に至らない」との声もあり、質的ミスマッチの深刻化が進行しています。このような背景から、限られた労働力を補うため、業務の省力化・効率化の取り組みが急がれています。

このような環境のもと、当社創業時からのミッションである「リモートワークを当たり前にする」のもと、バックオフィス業務などを国内外から参画するリモートワーカーがオンラインで代行するアシスタントサービス「CASTER BIZ」シリーズ等の提供に加え、業務効率を向上させるSaaSベンダーやBPOベンダーとのアライアンスにより、人手不足に悩む企業へ「解決策と人材」を提供することや、技術面や生産性向上を支援するBPaaSの取り組みに加え、クライアント企業への生成AI導入支援を進めるなど、人手不足への解決策を提供しております。2025年5月末時点のサービス導入企業数累計は約5,700社（当社単体）、従業員数は804人（当社単体、臨時従業員含む）となりました。

また、2025年4月にシステム開発を行う拠点としてベトナムにCASTER TECH VIETNAM CO., LTD. を設立し、高度な専門性を有するエンジニアの採用・育成を通じた技術基盤の強化を図り、持続的な事業成長を支える開発体制の構築を進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,447,909千円、営業損失362,007千円、経常損失366,141千円、親会社株主に帰属する四半期純損失371,862千円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「WaaS事業」としていた報告セグメントの名称を「BPaaS事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(BPaaS事業)

BPaaS事業は、低ロットサービスの稼働社数拡大に加え、経理領域及び低ロットサービスの売上高は前年同期比で伸長したものの、上期の大型案件の解約影響と、アップセルの効果が限定的にとどまったことが影響し、ARPU（顧客平均単価）は低下しております。費用については、専門領域サービス運営に向けた上期の人材獲得等の負担が残る中、受注状況に応じた原価の最適化及び販管費の削減に努めました。

以上の結果、売上高2,679,192千円、セグメント利益（営業利益）427,527千円となりました。

(その他事業)

その他事業は、リモートワークを希望する求職者が増加していることを受けて、リモート人材の紹介・在宅派遣はおおむね横ばいで堅調に推移しております。全体としては子会社及びEC-Consultingの売上計上が今期より始まっているため、売上は増加しております。費用については、EC-Consultingにおける将来成長を見据えた基盤構築のための先行投資に加え、2025年4月に設立したベトナム子会社への技術開発業務を当社から移管したことに伴う一時

的なコストが発生いたしました。

以上の結果、売上高768,716千円、セグメント損失（営業損失）119,738千円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,897,908千円となり、前連結会計年度末に比べ557,313千円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が16,417千円増加したものの、現金及び預金が518,656千円、流動資産その他が14,853千円、のれんが40,409千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,163,682千円となり、前連結会計年度末に比べ188,387千円減少いたしました。これは主に、短期借入金が30,000千円、未払法人税等が24,153千円、流動負債その他が105,744千円、長期借入金が28,176千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は734,225千円となり、前連結会計年度末に比べ368,925千円減少いたしました。これは、株式報酬費用の計上により新株予約権が2,561千円増加したものの、利益剰余金が371,862千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月11日に公表いたしました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、2025年6月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,636,886	1,118,229
売掛金及び契約資産	351,908	368,326
その他	70,892	56,039
貸倒引当金	△4,158	△4,193
流動資産合計	2,055,529	1,538,402
固定資産		
有形固定資産	17,708	15,369
無形固定資産		
のれん	368,590	328,180
その他	10,414	13,326
無形固定資産合計	379,004	341,507
投資その他の資産		
その他	3,771	3,651
貸倒引当金	△792	△1,022
投資その他の資産合計	2,979	2,628
固定資産合計	399,692	359,505
資産合計	2,455,221	1,897,908
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,339	55,045
短期借入金	330,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	37,568	37,568
未払費用	399,425	395,017
未払法人税等	31,725	7,572
支店閉鎖損失引当金	11,251	—
その他	333,077	227,332
流動負債合計	1,183,386	1,022,535
固定負債		
長期借入金	158,042	129,866
退職給付に係る負債	2,590	4,887
その他	8,051	6,392
固定負債合計	168,683	141,146
負債合計	1,352,070	1,163,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	190,614	190,614
資本剰余金	1,580,963	1,580,963
利益剰余金	△668,800	△1,040,662
自己株式	—	△36
株主資本合計	1,102,776	730,878
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	411
その他の包括利益累計額合計	—	411
新株予約権	374	2,935
純資産合計	1,103,151	734,225
負債純資産合計	2,455,221	1,897,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	3,447,909
売上原価	2,181,371
売上総利益	1,266,537
販売費及び一般管理費	1,628,545
営業損失(△)	△362,007
営業外収益	
受取利息	666
補助金収入	1,259
為替差益	1,748
キャッシュバック収入	2,400
その他	430
営業外収益合計	6,506
営業外費用	
支払利息	5,182
支払手数料	4,154
その他	1,303
営業外費用合計	10,639
経常損失(△)	△366,141
特別損失	
支店閉鎖損失	2,005
特別損失合計	2,005
税金等調整前四半期純損失(△)	△368,146
法人税、住民税及び事業税	3,715
法人税等合計	3,715
四半期純損失(△)	△371,862
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△371,862

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	
四半期純損失(△)	△371,862
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	411
その他の包括利益合計	411
四半期包括利益	△371,451
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△371,451
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2024年9月1日 至2025年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、2024年9月2日付で株式会社LUV0を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、2025年4月8日付でCASTER TECH VIETNAM CO., LTD.を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、当第3四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2024年9月1日 至2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	BPaaS事業	その他事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,679,192	768,716	3,447,909	3,447,909	—	3,447,909
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,147	220	10,367	10,367	△10,367	—
計	2,689,339	768,936	3,458,276	3,458,276	△10,367	3,447,909
セグメント利益又は損失(△)	427,527	△119,738	307,788	307,788	△669,796	△362,007

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△669,796千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△669,675千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間の期首より、従来「WaaS事業」としていた報告セグメントの名称を「BPaaS事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
減価償却費	5,641千円
のれんの償却額	40,409

(重要な後発事象)

該当事項はありません。